

平成24年9月6日

都内私立中学高等学校
校 長
防災担当者 殿
関係教職員

一般財団法人 東京私立中学高等学校協会
会 長 近藤 彰郎
東京私学教育研究所長 清水 哲雄
学校安全・健康教育研究会委員長 河合 孝允
(共催：公益財団法人 東京都私学財団)

学校安全・健康教育研究会（防災対策）「見学研修会」のご案内 — 横浜海上防災基地及び海上保安資料館横浜館の見学 —

秋分の候、先生方には益々ご健勝のこととご推察申し上げます。

さて、当研究会では、横浜海上防災基地及び海上保安資料館横浜館の見学研修会を企画いたしました。

横浜海上防災基地は、昭和58年の中央防災会議の決定に基づき、関東地区の大規模な海上災害発生時における海上保安庁の防災活動の拠点として整備されました。平成7年8月4日から本格的な運用を開始しております。同基地は、災害時には指揮中核として巡視船艇、航空機等を迅速、効果的に運用するなど海上災害の拠点として機能する一方、平常時には、横浜海上保安部、船艇基地及び特殊救難訓練施設として使用されております。先般の東日本大震災においては、横浜海上保安部所属の巡視船も被災地に派遣され、支援物資の輸送や行方不明者の捜索などにあたりました。

また、基地に隣接している海上保安資料館横浜館は、日本周辺海域の現状や海上警備の重要性について、理解を深めてもらうことを目的に平成16年12月に開館しました。館内には、平成13年12月に九州南西海域で発生した工作船事件の船体が展示されているほか、ジャンパーや防水スーツなど乗組員が身につけていた衣類、地図、菓子袋などの回収品も見ることができます。

関東地方における災害対策活動の拠点を見学していただくことで、防災対策に役立ててもらいたいと思います。校務ご多忙の折とは存じますが、多数の先生方にご出席いただきたくご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成24年10月19日（金） 14:00～15:30
2. 会 場 横浜海上防災基地及び海上保安資料館横浜館（現地集合、解散） ※裏面案内図参照
横浜市中区新港1-2-1（赤レンガパークに隣接） TEL: 045-662-1185
3. 集 合 海上保安資料館横浜館 玄関前 13時45分（時間厳守）
4. 内 容 横浜海上防災基地及び海上保安資料館横浜館の見学
5. 定 員 20名（定員になり次第締め切ります）
6. 参加費 無 料 ※この研修会は、当協会会員各校の拠出金と東京都私学財団の補助金で運営されております。

7. 申込方法 10月8日(月)までに下記宛に、Web又はFaxにてお申込みください。

〒102-0073 千代田区九段北4-2-25 私学会館別館4階
東京私学教育研究所 学校安全・健康教育研究会(担当 松田・横山)
TEL 03-3263-0544 FAX 03-3263-0560
<http://k.tokyoshigaku.com>

【交通案内】

みなとみらい線
「馬車道駅」下車 徒歩8分

JR・横浜市営地下鉄
「桜木町駅」下車 徒歩17分(自動車道経由)

桜木町駅よりバス「あかいくつCルート」
「赤レンガ倉庫」下車、徒歩2分
※毎時0分、20分、40分発。料金100円。



学校安全・健康教育研究会(防災対策)「見学研修会」参加申込書

[10月19日(金)実施]

学 校 名	氏 名
	ふりがな

東京私学教育研究所 御中

平成24年 月 日

校 長 印

※FAX受理、受付完了等の連絡は省略致します。(本申込書をお送りいただいた時点で受付完了です)
申込確認が必要な方は、下記にご記入下さい。後日、申込書受理書をFAXでお送りします。

・希望する

理由等	FAX番号:
-----	--------